



平成24年 4月12日

各 位

会社名 松竹株式会社
 代表者名 代表取締役社長 迫本 淳一
 (コード番号 9601 東・大各一部、札、福)
 問合せ先 取締役 井手良樹
 (TEL 03-5550-1699)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成24年2月期業績予想の修正について

(1) 連結業績予想の修正

平成24年2月期通期の連結業績予想数値の修正 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,500	510	△1,260	△3,880	△28.24
今回修正予想 (B)	75,600	870	△680	△3,500	△25.47
増減額 (B-A)	△2,900	360	580	380	
増減率 (%)	△3.7	70.6	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成23年2月期)	90,254	3,371	1,757	709	5.25

(2) 個別業績予想の修正

平成24年2月期通期の個別業績予想数値の修正 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,640	100	△1,100	△7.95
今回修正予想 (B)	41,290	520	△710	△5.13
増減額 (B-A)	△350	420	390	
増減率 (%)	△0.8	420	—	
(ご参考) 前期実績 (平成23年2月期)	55,749	1,939	967	7.12

2. 修正の理由

平成24年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、映画業界においては興行収入・入場人員とも前年を大きく下回り、演劇業界においても企業や団体の観劇の自粛等の影響を受けるなど当企業グループにとって厳しい経営環境が続くものと想定しておりました。しかしながら、正月興行及び2月興行が当初見込みより好調に推移し、コスト削減等の業務効率化に努めた結果、営業利益、経常利益は前回発表した予想数値を上回る見込みであります。当期純利益につきましても上述の理由に加え、本日発表いたしました「平成24年2月期第4四半期 投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ」に記載の通り、特別損失が減少したこともあり、前回発表いたしました予想数値を上回る見込みであります。よって、平成24年2月期通期の連結業績予想の修正をいたします。

また、通期の個別業績予想につきましても連結と同様の理由で修正いたします。なお、個別決算において特別利益として「関係会社整理益」287百万円を計上する予定ですが、連結決算に与える影響はなく、個別の業績予想についても当初より見込んでおりましたので影響ございません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上